

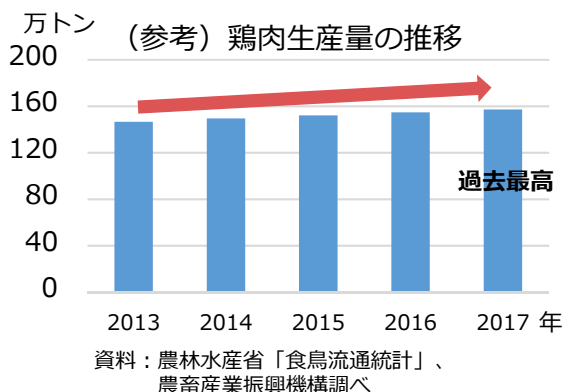
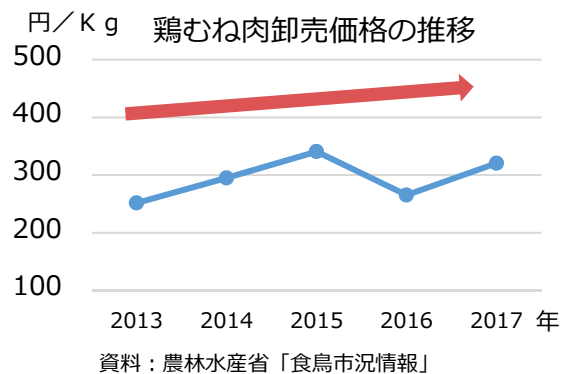
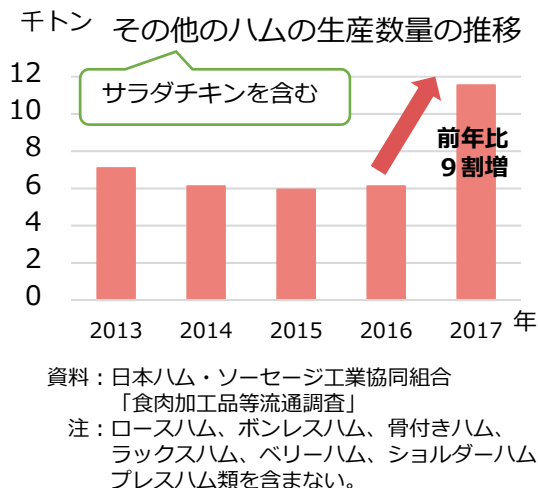
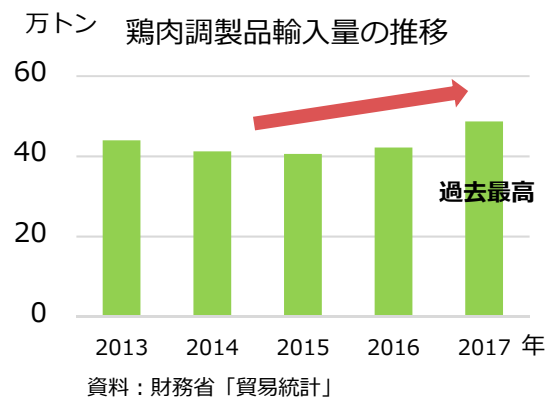
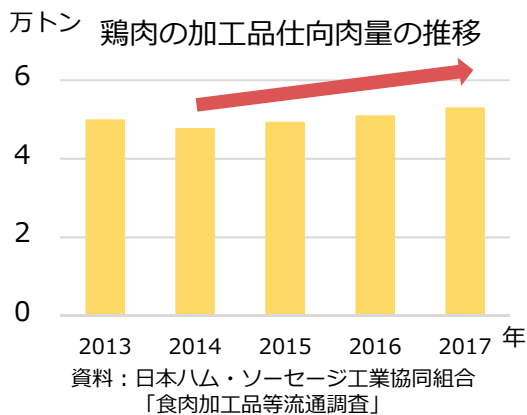
平成29年度鶏肉調製品の消費実態調査の概要

調査の背景・目的

近年の鶏肉調製品（注1）の動向を見ると、消費者の簡便化志向などにより、鶏肉調製品を用いた弁当・惣菜などの商品が増えていることから、鶏肉の加工品仕向肉量や鶏肉調製品の輸入量も増加しており、鶏肉需給に与える影響が年々大きくなっている。

その中でも、特にサラダチキン（注2）は消費者の健康志向も相まって市場が急成長しており、鶏むね肉卸売価格の近年の堅調な推移の一因とされている。

そこで当機構では、鶏肉の需給動向の分析に当たってサラダチキンに対する消費者の行動や意識を把握することを目的に、POSデータ分析とインターネットアンケートを実施し、サラダチキンの消費実態を調査した。結果の概要は次頁以降に記載。



近年の鶏肉需要の高まりを受けた堅調な相場を背景に、増産意欲が高まっており、2017年の鶏肉生産量は過去最高を記録した。

注1：鶏肉調製品とは、加熱調理や味付けなどされた鶏肉製品（フライドチキン、唐揚げ、焼き鳥、サラダチキンなど）をいう。

注2：サラダチキンとは、主に蒸した鶏むね肉を真空パックにした商品などをいう。

POS調査の結果概要

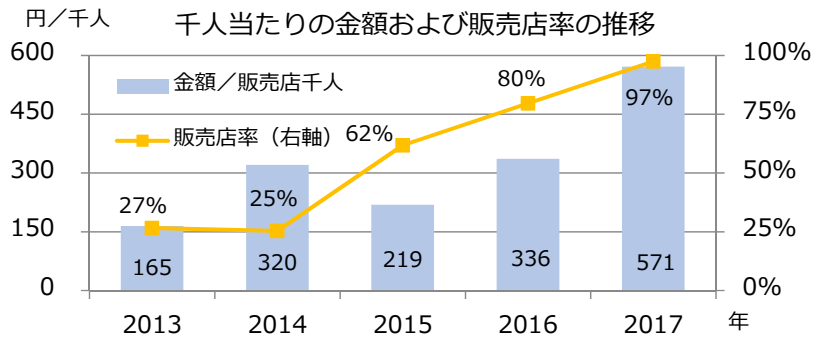
小売店のPOSシステム（販売時点情報管理）データから見たサラダチキンの消費動向

①

販売金額はこの5年間で大きく増加

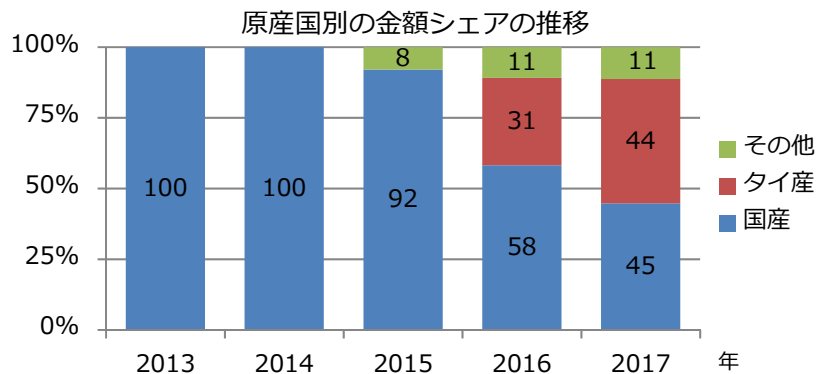
2017年には、ほとんどの店舗で販売実績あり

※千人当たりの金額=金額÷販売店のレジを通過した客数×1000
※本調査は、スーパーマーケットを対象としている。



②

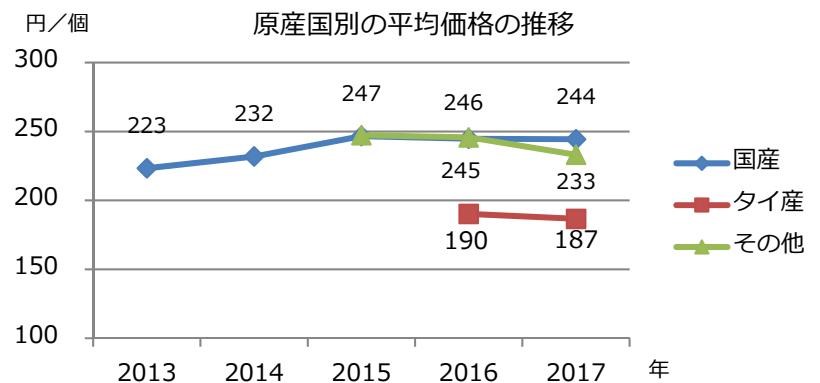
サラダチキンは、国産鶏むね肉の需要創出に一役買っているが、2016年以降、タイ産が急速にシェアを拡大している。



③

国産
・鶏むね肉卸売価格の上昇
・高付加価値商品（カット商品など）の増加
→ 2015年まで上昇、以降堅調に推移

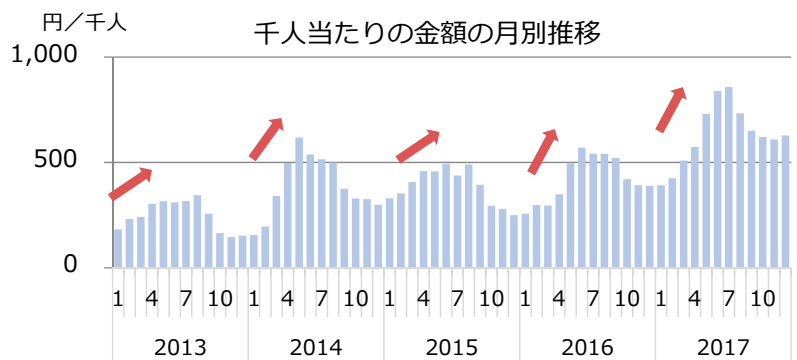
タイ産 国産、その他と比べ安値で推移



④

販売金額は夏場がピーク

- ・薄着の季節→ダイエット目的の需要増
- ・火を使う必要がない
- ・調理の手間が省ける



詳細については、以下のURLをご覧ください。
平成29年度鶏肉調製品の消費実態調査（POS調査）

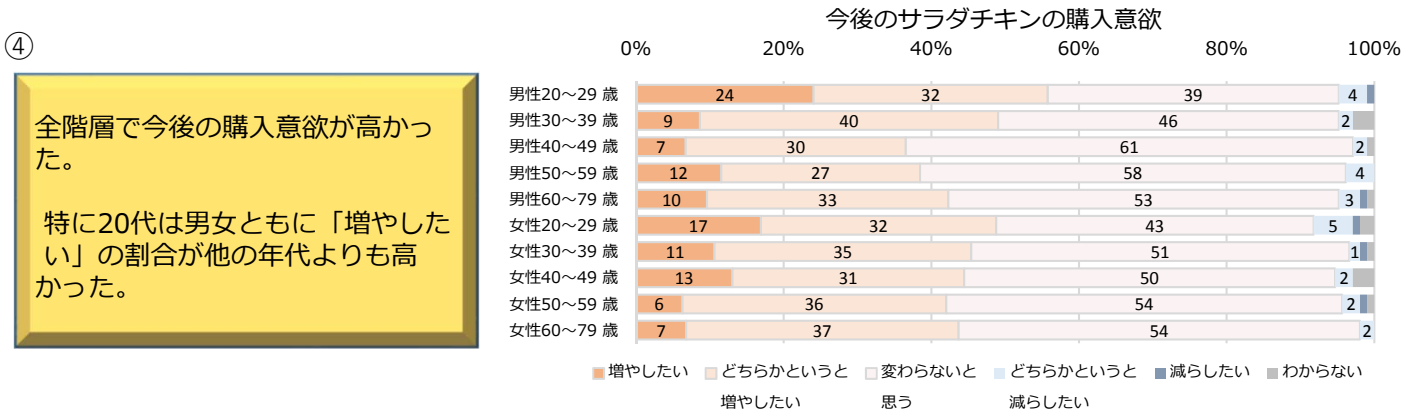
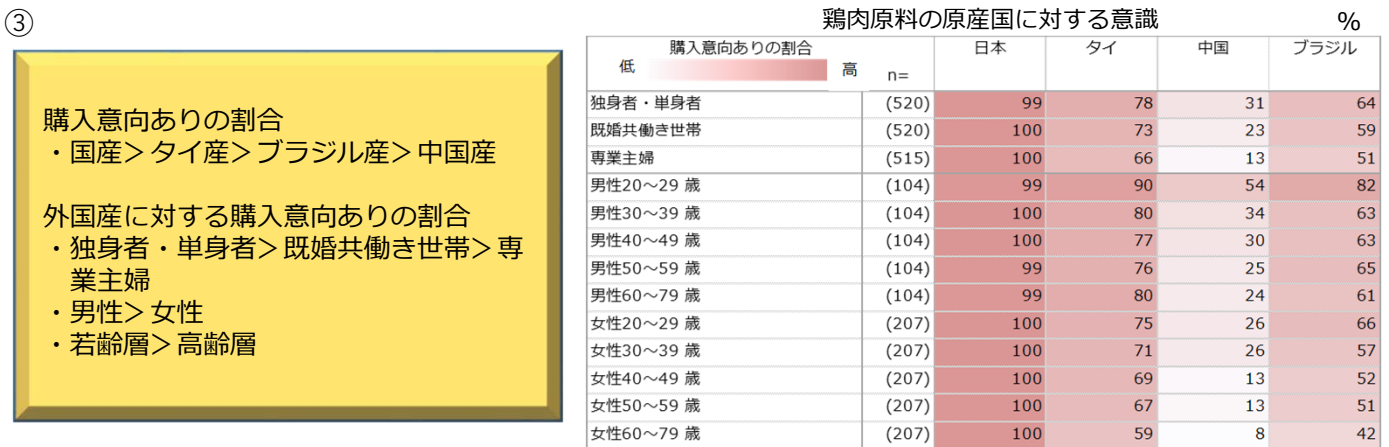
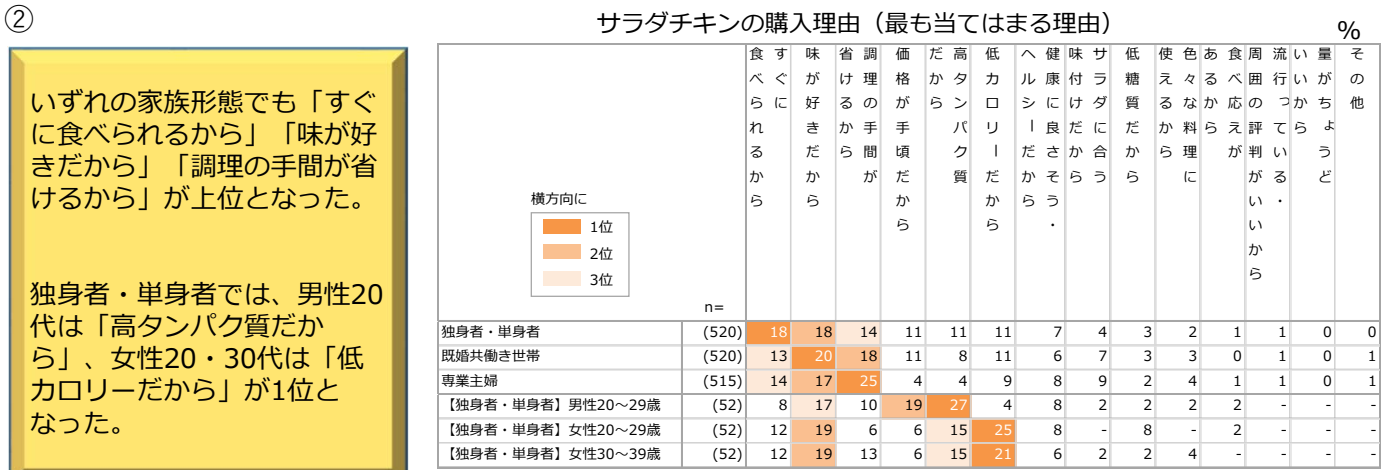
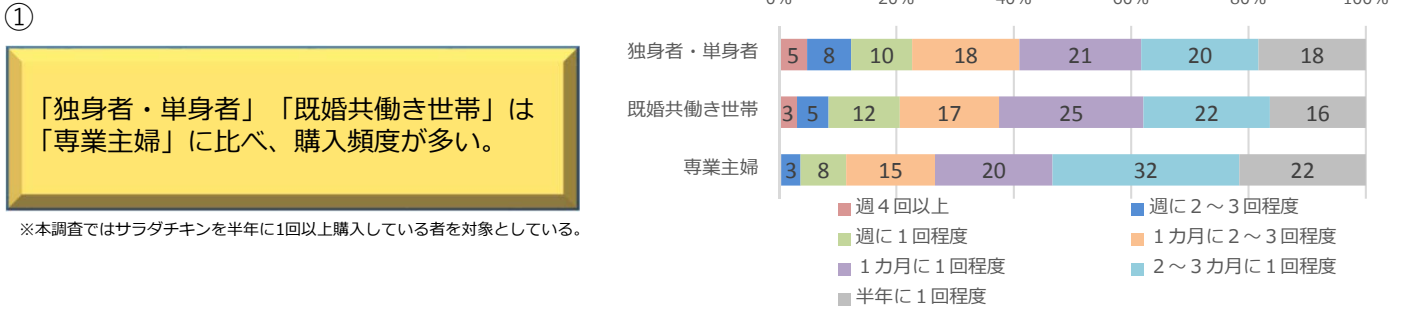
<https://www.alic.go.jp/content/001153808.pdf>



WEB調査の結果概要

インターネットアンケートの集計データから見たサラダチキンの消費動向

サラダチキンの購入頻度



詳細については、以下のURLをご覧ください。
平成29年度鶏肉調製品の消費実態調査（WEB調査）

<https://www.alic.go.jp/content/000153412.pdf>



まとめ

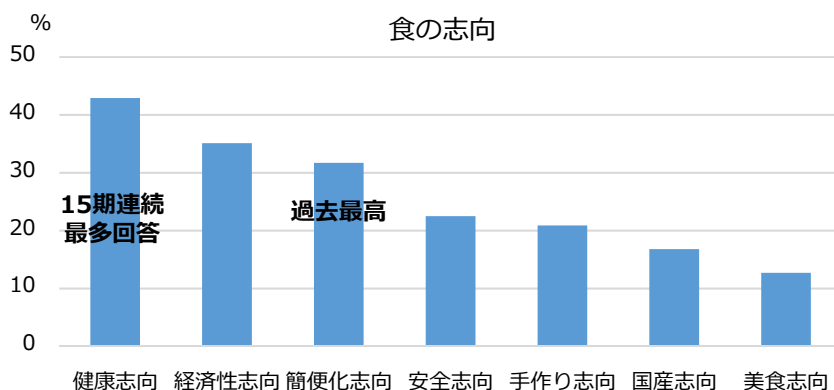
サラダチキンの販売金額は、販売開始以降、増加傾向で推移している。2017年時点では、スーパーマーケットでの販売店率（注）が100%近くまで上昇し、食肉加工品の代表的な商品のひとつとなっている。

また、近年は、国産だけではなくタイ産などを使用した商品も発売されており、購入意向についてバラつきはあるものの、消費者の選択肢も増えてきている。

さらに、消費者の簡便化志向が高い状況の中、サラダチキンの簡便性が高く評価され、今後の購入意欲は、全階層で高い結果となったことから、今後も鶏肉需給に一定の影響を与えていくものと考えられる。

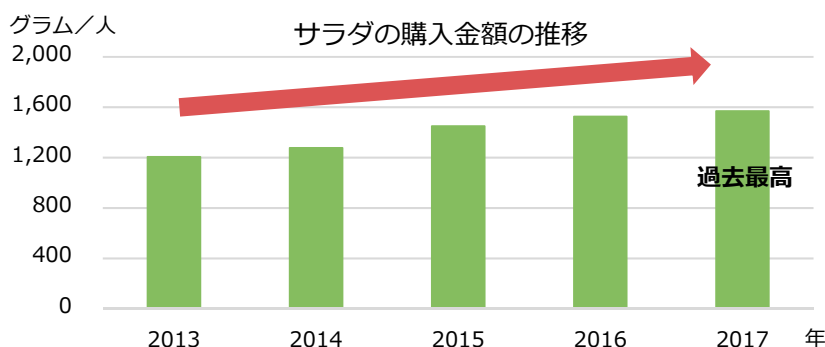
なお、WEB調査では、サラダチキンをサラダに入れて食べるという回答も多かったことから、サラダはサラダチキンと一定程度の補完関係にあるとみられる。サラダの消費量は近年好調に推移しており、相互に一定の影響を与え合っているとみられることから、今後のサラダ消費にも注視する必要がある。さらに、低価格商品の拡充に期待する回答も多く見られた。安価なタイ産がシェアを拡大していることから、国産品との競合が激しくなることも考えられるため、今後のサラダチキンの販売動向が鶏肉需給にどのように影響していくか注視する必要もある。

注：販売店率 = 販売店数（2017年の1年間に販売実績があった店舗数）÷全店舗数



資料：株式会社日本政策金融公庫「平成29年度下半期消費者動向調査」

注：調査手法はインターネットによるアンケート調査。本設問では2つまで回答可としている。



資料：総務省「家計調査報告」

注：1世帯当たりの数値を世帯人数で除して算出。